

国重要文化財指定記念展

朝日遺跡、よみがえる弥生の技

東海弥生文化の至宝一挙公開!

期間 平成25年3月20日(水・祝)～5月19日(日)

場所 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館 **観覧 無料**

〒452-0932 清須市朝日貝塚1 電話：052-409-1467

開館時間 午前9時30分から午後4時まで

休館日 毎週月・火曜日【ただし4月29日(月)、5月6日(月)は開館】

*記念展開催中は、通常の開館日を変更します。

主催 愛知県教育委員会、清須市、清須市教育委員会、
公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター

問い合わせ先

愛知県教育委員会

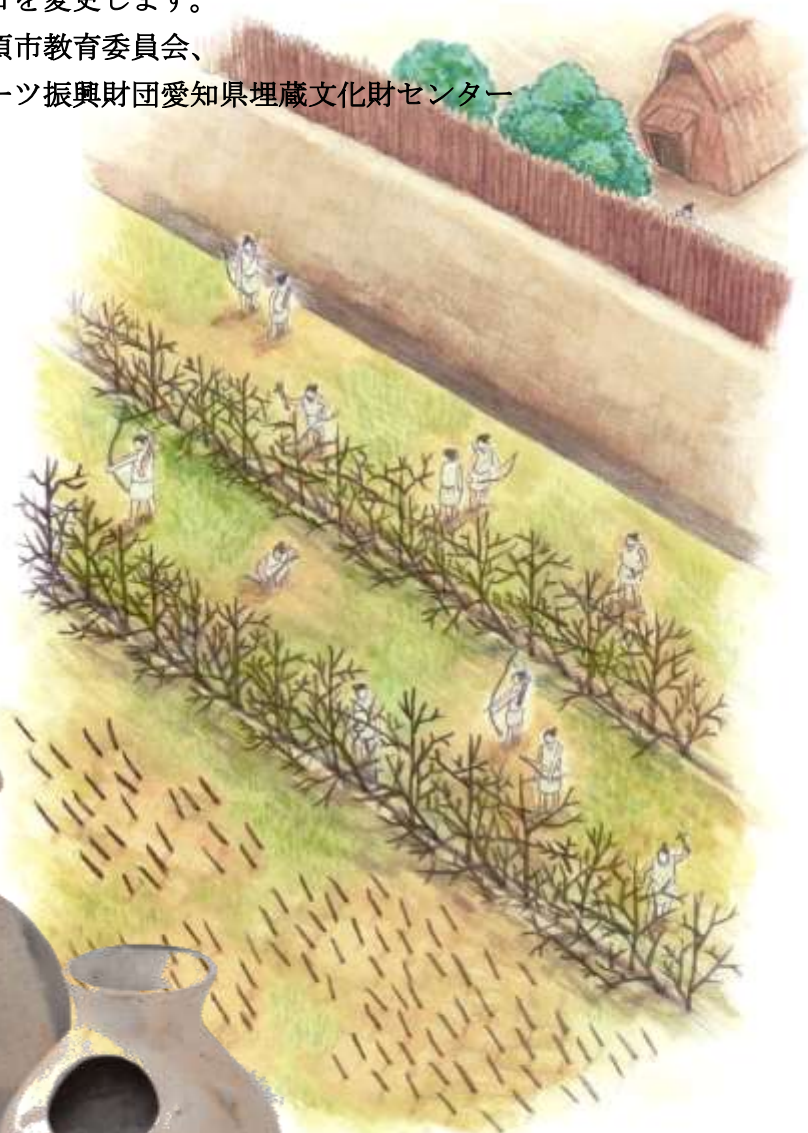
生涯学習課文化財保護室

電話：052-954-6782



朝日遺跡インターネット博物館

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>



円窓付土器

朝日遺跡の防御施設と戦い

弥生時代には、集落間や地域をこえた争いが何度となく繰り返されました。朝日遺跡は、環濠と土塁、木を組んだ逆茂木、杭列など堅牢な多重防御施設が、全国で初めて発見された遺跡です。

国重要文化財指定記念展

朝日遺跡、よみがえる弥生の技

朝日遺跡は、清須市、名古屋市西区に所在する、弥生時代の大規模な環濠集落^{かんごっしゆつらく}です。昭和40年代以降、名古屋環状二号線の建設に伴って大規模な発掘調査が行われ、逆茂木・乱杭^{さかもぎらんぐい}などからなる強固な防御施設、埋納された銅鐸^{どうたたく}、玉作りの工房跡など、重要な発見が相次ぎ、**東海地方を代表する弥生集落**として、その名が知られるようになりました。発掘調査では膨大な遺物が出土し、これらの出土品は、弥生時代の多様な生業、生産・流通の様相を考証し、精神生活を推察するうえで極めて重要な資料として評価されています。

このたび、国の文化審議会の答申を受け、愛知県教育委員会および愛知県埋蔵文化財センターの発掘調査で出土した**主要な遺物 2,028 点が国の重要文化財に指定**されました。その内容は、土器・土製品 727 点、木器・木製品 253 点、石器・石製品 650 点、ガラス小玉 121 点、金属製品 37 点、骨角牙貝製品 240 点と多岐にわたります。

愛知県では、この貴重な文化遺産を、将来にわたって大切に保存するとともに、広く県民のみならず皆さまにご覧いただく機会を設け、文化財を活用した文化力の向上、地域の活性化に取り組んでまいります。本展覧会では、重要文化財に指定された出土品を中心として、土器、石器、木製品、骨角製品、金属製品など、朝日遺跡の高度な「ものづくり」の技術に焦点をあてて紹介していきます。わが県が誇る弥生文化の至宝をぜひご覧ください。



赤彩土器 (壺・高坏)



木製農具



赤彩土器 (合子蓋・身)



巴形銅器



勾玉・管玉



交通案内

- (株)東海交通事業城北線尾張星の宮駅から 徒歩 10 分
- 名鉄名古屋本線新清洲駅から 徒歩 30 分
- JR 東海道本線清洲駅から 徒歩 35 分
- 清須市あしがるバス ピアゴ清洲店前停留所下車 徒歩 5 分
- 名古屋第二環状自動車道清洲東 I C から 車で約 5 分